

プラス記事 6%減、ニュートラル・マイナス記事 30%増

日清食品、大坂選手の活躍で1位 トップ交代の阿里巴巴が初のランクイン

9月度のプラス評価は76億8623万円、ニュートラル・マイナス評価は41億2209万円だった。前月と比較するとプラス換算値は6%減、ニュートラル・マイナスは30%増だった。プラスは過去1年で最も低かった。項目別では女子テニスの大坂なおみ選手の話やトップの人物コラムへの露出などで「人」の比率が高い企業が目立った。

1位日清食品は、大坂なおみ選手が4大大会のひとつ全米オープンで優勝し各紙で大きく扱われた。同社が1位になったのは、錦織圭選手が同大会で準優勝した2014年9月以来2回目である。

3位アップル(米)は新型「iPhone」の発売が注目された。同商品を巡っては、18位NTTドコモと19位ソフトバンクも価格設定や販売状況が取りあげられて換算値を伸ばした。ソフトバンクは新料金プランの『ウルトラギガモンスター+』を発表し、毎日は「ビジネス掲示板」で料金戦略についての榛葉淳副社長のインタビューを掲載した。

4位北海道電力は、6日に発生した北海道胆振東部地震による停電でニュートラル・マイナス換算値が押し上げられたが、地震から1週間後の13日以降は計画停電の回避や節電要請の解除などプラス評価となる記事が徐々に増加した。苫東厚真火力発電所2号機は当初の予定より半月早く再稼働し、復旧は11月以降と予測されていた4号機も1カ月以上前倒して9月中に運転再開したことが報じられ、冬場に向けた他発電所の再稼働計画なども記事化された。

20位阿里巴巴集団(アリババ)は2017年10月の採録開始以来初のランクインとなった。創業者の馬雲(ジャック・マー)会長が2019年に退任することが明らかとなり、日経の8日夕刊を皮切りに翌朝刊から全紙が一斉に報道した。10日には張勇(ダニエル・チャン)CEOに会長職を引き継ぐことが正式発表され、日経は12日の企業面で張氏の経歴や人柄を詳しく紹介した。8日から12日までの換算値は4455万円にのぼった。

プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	日清食品	274,979	全米オープンテニスで所属の大坂なおみ選手が優勝、4大大会で日本人初。
2	トヨタ自動車	185,745	国内の販売店4系列を一本化へ。2018年の世界生産計画台数が過去最高に。
3	アップル(米)	184,916	新型「iPhone」を発売。「商品」84%、「経営」8%、「販売」4%。
4	北海道電力	183,141	苫東厚真火力発電所が地震による運転停止から大幅前倒して再稼働。
5	すかいらーく	154,077	日経「私の履歴書」に創業者の横川竟氏が登場。「人」97%。
6	ツイッター(米)	142,945	自民党総裁選に関するつぶやき分析、「新潮45」を巡るツイートなど。
7	四国電力	138,003	広島高裁が伊方原発3号機の運転を容認、10月再稼働へ。「生産」94%。
8	JR東日本	124,681	新幹線の防犯装備を強化。品川駅周辺の大規模開発の概要を発表。
9	日立製作所	102,252	経団連会長の中西宏明会長が就活ルールの廃止を表明。テンセントと提携。
10	日本総合研究所	96,561	日経「My Story」に翁百合理事長が登場。「社長・会長」73%。
11	ルネサスエレクトロニクス	96,382	米半導体のIDT買収を発表、自動運転分野の強化へ。「提携・合併」88%。
12	三菱UFJ・FG	84,856	日経と朝日がリーマン危機10年特集に田中正明元副社長のインタビューを掲載。
13	アマゾン・ドット・コム(米)	81,378	時価総額が1兆ドルを突破、アップルに次いで2社目。「経営」47%、「商品」18%。
14	東京海上HD	78,811	日経「My Story」に永野毅社長が登場。「社長・会長」93%。
15	味の素	75,208	読売「LEADERS」に西井孝明社長が登場。社員向けに健康支援アプリを導入。
16	スタートトゥデイ	71,778	前沢友作社長が民間人初の月周回旅行の乗客に決定。「社長・会長」93%。
17	ソニー	70,925	朝日「北欧女子オーサの日本探検」で『アイボ』を紹介。「商品」46%、「販売」16%。
18	NTTドコモ	69,014	新型「iPhone」の価格が決定。日経が「モバイル空間統計」の活用例を紹介。
19	ソフトバンク	68,667	新型「iPhone」の価格が決定。新料金プラン『ウルトラギガモンスター+』発表。
20	阿里巴巴集団(アリババ)	67,574	ジャック・マー会長が来年の退任を表明。「人事」47%、「社長・会長」33%。